

入社・入学までに準備しておくこと

就職試験も終盤戦。進学試験も専門学校の試験がほぼ終わり、大学・短大の入試が始まっています。すでに多くの3年生が内定や合格をいただいています。ここがゴールではありません。企業や上級学校で働いたり学んだりするためのスタートラインにつく資格を獲得できたということです。これからは、入社・入学後に役立てられるように、将来のための本当の学びをしておくことが必要になります。



◎ 就職の場合

- ① **時間を守る** 仕事で信用されるための第一歩となります。
- ② **自ら学ぶ** 仕事に必要な知識、技能や社会人としての一般常識などを身に付けるため日々の勉強が必要。働く中で、自分から学ぶ姿勢が大切です。
- ③ **健康管理** 体調を崩して休みをとると、他の人に迷惑をかけることも…「働き続けられる体力」を維持することも大切です。
- ④ **言葉遣い** 社会人になれば、みなさんの保護者よりも年上の方とも一緒に働くことになります。職場によっては「お客様」と接することもあります。当然、**言葉遣いや挨拶**にも気を配る必要があります。

◎ 進学の場合

上級学校に入学した後に必要とされる力を身に付ける必要があります。

① さまざまな文献を読んでまとめる力

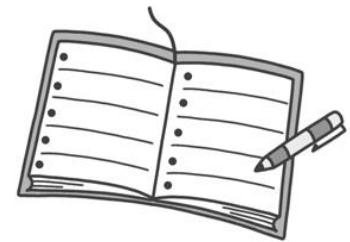
大学では英語の文献を読むこともあります。

② レポートを書くための文章力

提出したレポートで評価される科目もあります。

③ 講義に対応できる基礎学力

工業高校は、普通高校より普通教科の授業時数が少ないので、入試にない科目も、入学後も困らないように学んでおく必要があります。また、高校生よりも大人として扱われるので、より自主的に勉強する姿勢が必要になります。



悪戦苦闘能力 ～実社会で必要とされる能力とは・・・～

皆さんは、それぞれの最終学歴となる学校を卒業後、約40年間におよぶ社会人としての人生を歩んでいかなければなりません。力強く生き抜くためには、「どのような力が必要なのか」、その力を身に付けるためには「どうしなければならないか」を早い段階で認識し、行動・実践していくことが大切です。どのような難問にぶつかっても**へこたれず、粘り強く**、あらゆる可能性を探っていくことが**悪戦苦闘能力**です。その能力を身に付けるために心掛けておく5つの項目を示します。（参考：大畑誠也氏（元熊本県立高等学校長）の提唱から）

- ① 挨拶…挨拶はコミュニケーションのスタートラインであり、**信頼ある人間関係**をつくるためである。
- ② 体力…「疲れる」や「眠い」と言うのは食生活に原因がある。意欲・根性・勇気は食物こそ体力の源泉となる。
- ③ 感性…**人の気持ちが分かる人**。そのための体験学習で一番ためになるのは家の手伝いをする事。
- ④ 集中…**想いや目標**がなければひたむきさ(集中)は生まれにくい。全てはこうしたいとの想いからスタートする。
- ⑤ 思考…自分の考えを持つ。第一に本を読むこと。第二に人の話をメモしながら聴くこと。それらを自分の中で熟成させたとき、自分の考えになる。

身につけたい能力

みなさんがそれぞれの進路先でよりよい仕事をするために身につけたい能力を挙げたいと思いますので参考にしてみてください。

1. コミュニケーション能力 コミュニケーションはビジネスや日常生活において非常に重要です。他人と効果的にコミュニケーションをとり、アイデアや情報を明確に伝える能力が求められます。

2. 問題解決能力 問題が発生した際に、論理的思考や創造的思考を継続して解決策を見つける能力が必要です。この能力は職場や日常生活で常に求められます。

3. デジタルリテラシー デジタル技術がますます重要になっており、コンピューターやインターネットを使用する能力が求められています。これには基本的なコンピュータスキル、デジタルツールの使用、情報セキュリティの意識などが含まれます。

4. 自己管理能力 目標の設定、時間管理、ストレス管理など、自己管理能力は個人として成功するために重要です。また、仕事やプロジェクトを効果的に管理するためにも役立ちます。

5. チームワーク力 (協力能力) チームでの仕事が多岐にわたるため、他の人と協力して目標を達成できる能力が求められます。協力、コラボレーション、対人関係のスキルは重要です。

6. 経済的リテラシー お金に関する基本的な知識や資金管理スキルは、個人の健全性を維持するために必要です。

7. ライフロンギング 変化の激しい社会では、新しいスキルを学び続けること(生涯教育)が必要です。また、自己学習能力や適応力を高めることが重要です。

これらの能力は、今後の生活や社会で成功するために役立つと思います。また、具体的な職業やキャリアの選択に応じて、さらに専門的なスキルや資格が必要とされることもあって、自分の目標に合わせてスキルを磨いていくことが重要となりますので、これらのことを踏まえて実践していただきたいと思います。

秋は資格取得に頑張ろう！

工業高校では6月と11月に多くの資格試験、検定試験が行われます。多くの生徒の皆さんが合格を目指して頑張っていることでしょう。資格・検定の多くは、これまでの専門的な学習、実習の成果を試すものや、設備、機器、物品の取扱に関する資格や能力を証明するものです。工業高校で学ぶ生徒として一つでも多くの資格・検定をクリアすることが自分の専門性を高めるために役立ちます。「この資格を取ったので即就職！」となるものは少ないかもしれませんが、一つ一つの積み重ねが自分を成長させてくれることに間違いはありません。そして合格を勝ち取るためには十分な学習が必要不可欠です。中には補習時間の学習だけで満足してしまい、自宅で、自ら進んで取り組む様子が感じられない生徒も多いと感じます。「時間をかけて、諦めずに、最後まで頑張り抜く」ことこそが合格へつながる道です。皆さんの健闘を期待しています！